

2026年3月12日

ケアパートナー株式会社

保育園で「鮭の解体ショー」 五感で学ぶ食育イベントを開催

ケアパートナー株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:高山 尚弥)は、2026年2月26日(木)、当社が運営する保育施設「キッズパートナー駒込」において、東京都の教育・保育施策「とうきょうすくわくプログラム」の一環として、全園児を対象に鮭の解体ショーを開催しました。本取り組みは、食材への興味や感謝の気持ちを育む食育活動として実施したものです。子どもたちは、普段食卓に並ぶ魚を丸ごと見る体験を通して、食べ物への理解を深めました。

■とうきょうすくわくプログラムについて

「とうきょうすくわくプログラム」は、すべての乳幼児の「すくすく(伸びる・育つ)」、「わくわく(好奇心・探究心)」を応援する、東京都の教育・保育プログラムです。幼稚園や保育所といった施設の枠を超え、子ども一人ひとりが主体的に取り組む探究活動を通して、豊かな心の育ちを支援することを目的としています。

キッズパートナーでは、子どもたちの興味関心や探究心を大切に、保護者や地域とともに、「元気なみらい」づくりに取り組んでいます。



鮭を実際に触る園児の様子



調理前に鮭の構造をパネルで説明



鮭のちゃんちゃん焼きを給食で提供

■イベント当日の様子

当日は「身近な食材に親しみ、食への関心を高める」をテーマに、0歳児から5歳児までの全園児が参加しました。大きな鮭が登場すると、園児たちは興味津々。鮭の構造をパネルで学びながら、・見て・触って・匂いを感じて・音を聞いて と、五感を使って食材に触れる体験を楽しみました。初めて見る大きな魚に少し驚く子どももいましたが、次第に多くの園児が鮭に触れ、「すごい!」「大きい!」といった声がありました。その後、解体された鮭は給食で「鮭のちゃんちゃん焼き」として提供。食事の前には食べ物への感謝について話を行い、子どもたちは元気な声で「いただきます」とあいさつ。給食の時間は「おいしい!」という声に包まれました。

■ケアパートナーの保育

当社では、日々の保育の中で子どもたちの好奇心や探究心を引き出す体験型の活動を大切にしています。今後も食育や地域との交流などを通じて、子どもたちがいきいきと成長できる保育環境づくりを進めていきます。

本件についてのお問合せ先 ケアパートナー株式会社 コーポレート・コミュニケーション部
TEL:070-3541-3331 (担当:コルクット/荒谷) E-mail:cp-koho@kentak.co.jp